

コミュニケーション力を高める授業づくりをめざして

保健体育科 佐々木 久美子
志 村 信 幸

1. テーマ設定にあたって

昨年度は本校の研究テーマの副題であった「異学年・異校種間交流授業を通じた学び」に基づき、本校体育科のテーマを「コミュニケーション力を高める授業づくりをめざして」と題して研究実践を試みた。今年度は昨年度の研究実践をふまえつつ、再び異校種間交流授業を同じテーマで試みることにした。今年度再び同じテーマで試みようとした理由は、昨年度は対象が中学3年生と高校1年生という年齢差がわずか1歳しかなかったので、滝充先生の助言である「異学年交流が成功するには一般的に年の差が大きいほどよい。ある活動について先行経験がありよく知っている先輩がよく知らない後輩に教えることができるからである。教える側と教えられる側の差が大きいほどよい。上級生が導いたり、お手本を示したり、お世話することができる。このような経験は上級生に役割の自覚を促し自己有用感を高めることができる。」という理論に反するものであった。

今年度は高校の先生方に早めに時間割についてのお願いを申し出た結果、年齢差が3歳の中学1年生と高校1年生を対象とすることができた。

体育の学習を進めるにあたって、常に仲間との関わり合いを持ちながら授業を進めていくことが多く、その過程の中で課題を解決していくことになる。その課題の解決の中で、できている部分、まだうまくできていない部分を相手にわかりやすく伝える（自己表現力）、また相手が自分に対して何を伝えようとしているのか理解すること（他者理解力）が課題の克服や競技力の向上に大きくつながっていく。現在の附中生の実態は、体育の授業の中では、それなりに関わりを持ちながら授業を進めることはできるが、自分は自分、人は人という部分がやや残っていたり、何となく関わっている状態が見られる。何をどのように伝えればよいのかと言うことや、仲間に伝えることで得られる有効性などがあまり意識されていないのが現状である。このような理由で今年度も同じように昨年度の課題を交流授業の中で検証していくことにした。

2. 昨年度の実践について

年齢差のある者どうしを、交流授業の対象にすること自体が難しいのを承知の上で、試みてはみたものの第1回目の交流授業での自己紹介は、大変気まずい雰囲気の中で始まっていった。中学3年生と高校1年生の成長過程において、体格・体力や色々な能力や経験などはさほど違いはないからか、中学生よりは高校生にライバル意識が強く働いたように思えた。それでも重苦しい雰囲気の中で始まった交流授業は、回を重ねる毎に少しずつ和らいでいき、話し合いも持たれ意思の疎通ができ始めていった。

中学生は高校生に対して、上級生に対する言葉遣いを意識しながら、自分の考えや思いをどのように表現し伝えていくのか、また高校生は中学生に対して思いやりの気持ちを持ってどう表現していけばよいのかを互いに経験し、学び合いながら身につけていった。即ち他者理解の能力と自己表現力の能力を高めながら、徐々にコミュニケーション力が高められていった。

バスケットボールに関する技能面や作戦面について言えば、互いに基本的技能の向上を目指すと共に、ゲームにおける作戦面に関しては、深く学ぶ状況までには到達できなかった。ゲームの中でカットインプレー・ポストプレーや速攻などを取り入れたゲーム展開を目指そうとしたものの、数回の交流授業ではな

かなか確実に定着していかなかった。

高校生は中学生に教えたり、アドバイスしたりするまでに中学生に教えることを習得しておかなければならないが、時間的にも難しく、またその意識も薄いように思えた。一方、中学生は最初から高校生に対しては、過度な期待を抱いて交流授業に臨んだが、ややもすると能力的にも同じか、それ以上の能力を持つ中学生も多くいることで逆転現象が起き、意欲も少し減退していった中学生もいた。中学生だけではなく私達（中学校）教師も高校生には期待を寄せ、中学生を上手く導いてくれるだろうと考えていた。

私達中・高の教師間での意識のずれも正直あり、両者の思いも一致しない場合もあって教師側の課題でもあった。1歳の年齢差はやはり大きな影響を受けた。

しかしながら、交流授業の時間数を増やすことは、即ち交流の経験を積むことができ、上級生に対して或いは、下級生に対してのコミュニケーション力が高まった。しかし、私達教師自身が交流授業を行うことで何を目指そうとしているのかを明確にしていかなければならないと痛感した。

3. 交流授業について

(1) 交流授業のねらい

昨年度は高校1年生と中学3年生、球技（バスケットボール）で交流授業を実践したが、技術的な差があまり見受けられなかったり、その能力が逆転してしまっている部分も見られ、やややりにくい部分もあった。そこで、今年度は、高校1年生と中学1年生との交流授業を、球技（バスケットボール）で行うこととした。昨年度と種目を変えなかったのは、比較的球技が好きな生徒が多いということと集団スポーツとして、多くの人との関わりが練習やゲームの中で生まれ、その過程の中で、チームとしてや、個人の技能を伸ばしていく上で、コミュニケーションをとりながら学習を進めていくことに適している。

また、昨年は高校1年生と中学3年生との交流で授業実践し、昨年度との比較を行うことができると考え、今回も同じ球技（バスケットボール）で行うこととした。

(2) 実践内容

今年度は附属高校保健体育科教諭との話し合いで、3回実践することができた。1回目が5月29日(50分)、2回目が6月19日(50分)、3回目が6月26日(30~40分)であった。授業は男女別々で、中学生40名と高校生20名程度の人数で、グループは中学生6~7人に高校生2~3人程度の6グループを男女とも編成して行った。練習内容や進め方については、男子は高校の川崎先生の指導のもと、技術面からゲームまで段階を踏んで行った。

各回それぞれ共通の課題を設けて取り組むこととした。

1回目……………お互いの能力を知る。今後の課題を発見する。

2回目……………異校種の人との練習を通してコミュニケーション力と技能を高める。

練習した成果をゲームに生かす。

3回目……………異校種の人との練習を通してコミュニケーション力と技能を高める。

1回目は、グループごとに名前の確認など関わりに最低限必要なコミュニケーションをとり、その後四角パス、中学生同士のゲーム、高校生同士のゲームを行ったり、見たりし、その後お互いどうだったかなどを簡単に話した。四角パスは中学生は行っていない練習だったので、最初は動きにとまどいが見られたが、時間がたつにつれて動きを覚えた生徒は意欲的にできた。ただお互いにどうしたら良いかき

いたり、どう動けば良い等のアドバイスがなかなかできず、教師が動きのわからない生徒に指導・助言することが多かった。

2回目は、四角パスを発展させ、パス回しだけでなく最後はシュートまでとゲームに生かせるものを練習に取り入れ、その後中学生3人と高校生2人で5対5のゲームを行った。終了後簡単にチームごとで振り返りをした。練習については、前回と同じ内容もあったが、忘れていた生徒もいてやや動きが固かった。シュートについても、中学に入って練習していないので技術的には低いものであった。

3回目は、中学側が45分授業のため、短い時間しか取り組みができなかった。3対2の練習を通して、どう攻めてどう守るかを知る機会となった。3対2の練習の意味が良く伝わっていなかったり、高校生だけが出たり、中学生だけになったりとうまく交流させてという部分はうまくできなかった。

(3) 交流授業に関するアンケート調査の結果

① 高校生との交流学习に関する予備調査の結果

1. 体育は好きですか。

	は い	いいえ
男子	67名	13名
女子	70名	8名

2. 球技は好きですか。

	は い	いいえ
男子	63名	17名
女子	57名	21名

3. バasketボールは好きですか。

	は い	いいえ
男子	45名	35名
女子	53名	25名

〈男女共通〉

「好き」の主な理由	「嫌い」の主な理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ チームスポーツが好き ・ シュートが決まると楽しい ・ 球技全般が好き ・ 体を動かすことが好き ・ カッコいい ・ 得意 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスやキャッチが苦手 ・ ドリブルが嫌い ・ 走り続けなくてはいけない ・ 上手い人と下手な人の差がでる ・ 得意でない ・ ボールを上手く扱えない

〈以下 男女共通〉

4. バスケットボールで、知っていることを書いてください。

簡単なルール 暴言を言わない

5. 大切なことは何ですか。

チームワーク 協力 団結力 シュートなどの技術 パスをつなげる ポジション
作戦 ルールを守る 楽しく ケガをしない, させない

6. 交流授業に期待することは何ですか。

高校生の上手いプレーをみる ルールなどを知る 先輩との関わり
少しでも上手になりたい 楽しくやりたい いろいろなことを教えてもらいたい

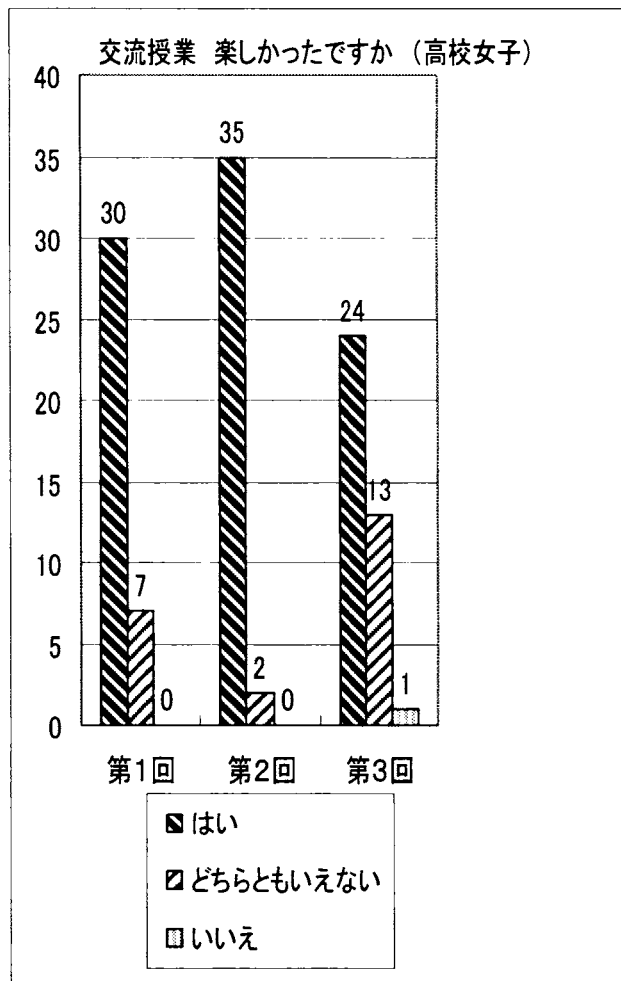
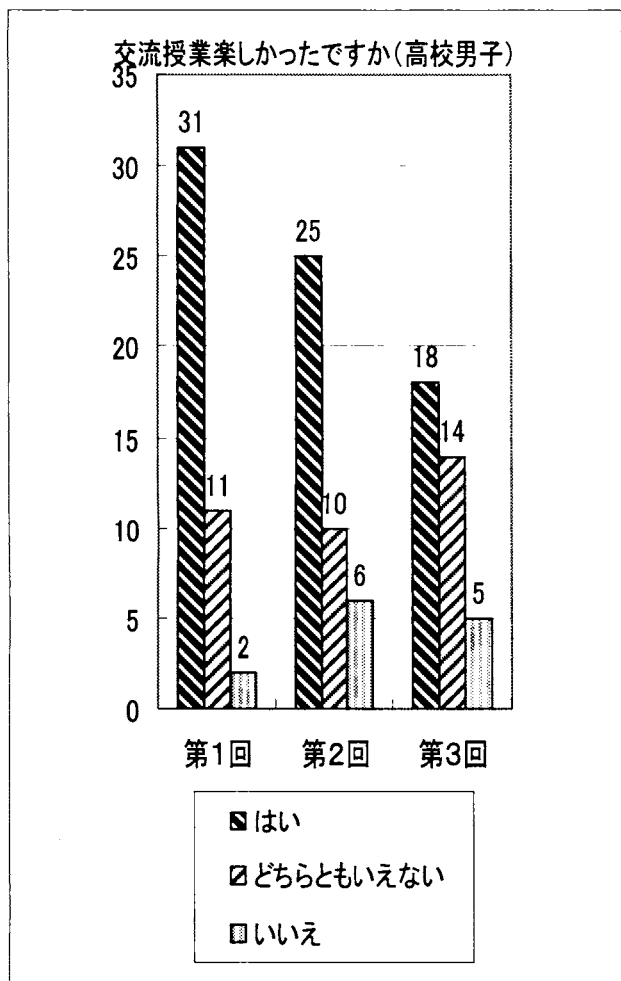
7. 交流授業に対して不安なことは何ですか。

体格差 スピード ケガをするかも 授業がスムーズに進むか 会話の仕方 技術の差

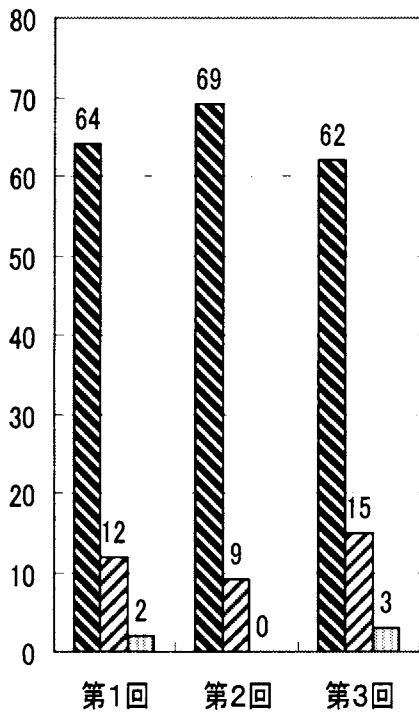
8. 交流授業に対する心構えは何ですか。

できることをしっかりやる 礼儀 楽しくやる 積極的に交流する

② 「交流授業（1回目～3回目）を終えて」のアンケート調査の結果

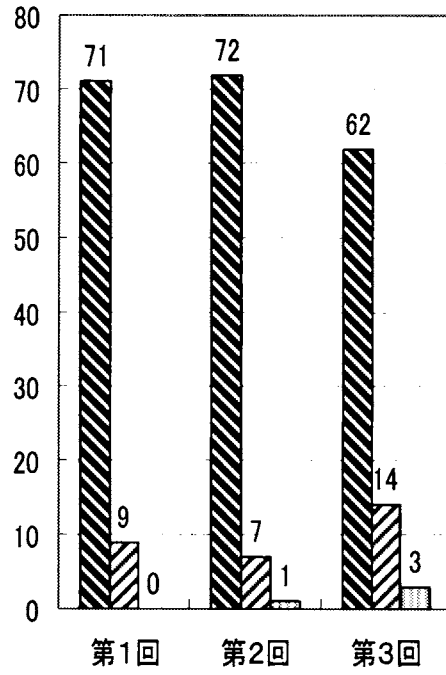


交流授業 楽しかったですか (中学男子)



- はい
- ▨ どちらともいえない
- いいえ

交流授業 楽しかったですか (中学女子)



- はい
- ▨ どちらともいえない
- いいえ



◆ 第1回目の交流授業を終えて、「楽しかった」と答えた生徒の理由は、以下のとおりである。

高校女子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームが楽しかったし、良い運動ができた ・みんな協力し合ってプレーできた ・自己紹介等で仲良くなれてうちとけた ・中学生は可愛かったし、自分の成長が感じられた ・違う環境で交流を深められた ・自分から積極的に動けた ・中・高生の良いプレーを見ることができた ・応援もしっかりできた 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生のゲームを見てとても勉強になった ・ゲームが楽しくできた ・高校生のスピーディで迫力あるプレーをみて、かっこよかったし感動した ・優しく接してくれたし、教えてくれた ・シュートのコツやパスの仕方を教えてくれた ・名前を覚えてくれて、「ナイスシュート」と色々声をかけてくれた

「お互いのプレーを見て感じたこと」

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生はボールにかたまっていて、無駄な動きが多い ・基本技能の練習が必要(パスやシュート)である ・チームとしての連携が課題である ・個人差がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技能の練習が必要である ・パスが繋がらない ・ボールやゴール付近に集まりすぎである ・リバウンドがとれていない ・良く動いて積極的であった
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生は無駄な動きがなく、コミュニケーションがとれていた ・技術的にすごいし、運動量も違っていた ・色々な技を使っていたし、プロみたいだった ・よく声をだしていたし、迫力があつた ・少しこわかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生は無駄な動きがなく、チームワークがとても良かった ・技術的に優れていて、頭脳プレーで上手く空間を使っていた ・動きが速く、バーゲンセールのお姉さんみたい ・コート全体に広がっていた

「具体的にどんな風に関わりましたか」

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・パスの仕方を実際に行って、アドバイスした ・自己紹介や部活の話をした ・多くアドバイスできるようにした ・ゲームで応援をした 	<ul style="list-style-type: none"> ・パスやシュート練習で指示したりアドバイスした ・名前を呼び合ってパスの練習をした ・自己紹介で部活の話をした ・声をかけた
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介でいろんな事を話した ・握手したり、応援したり、部活のことを話した ・パスの仕方を教えてもらった ・コツを教えてくれた ・いろんな人にパスをまわした 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介で話をすることができた ・パスやシュートの練習でアドバイスしてくれた ・名前を呼び合ってパス練習をした ・互いに応援し合った ・練習の時リードしてくれた

「どんな課題が見つかりましたか」

〔技能面〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生としてもっと考えながらゲームをしたい ・連携があいまいである ・空いたスペースをつくり，的確なパスを出す ・高校生らしいプレーをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・シュートの確率を高める ・動くコースを考える ・全体を見るようにする ・声を出す
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・色々な基本技能を身に付ける ・前にボールを出す ・スピードが足りない ・自分からボールをとりにいけるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技能の練習をする ・ボールにかたまらない ・守りもしっかりする ・全員で考えて動く

〔関わりに関して〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に関わりたい ・名前を覚えて積極的に関わりたい ・リーダーシップをとってもっと教えたい ・声のでていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前を覚える ・もっとアドバイスをする ・積極的に声を出す ・もっとフレンドリーになる
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと話をして親しくなりたい ・先輩からいろいろ教わりたい ・高校生の名前を覚える ・もっと発言をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前を覚える ・声を出す ・わからないことをどんどんきく ・チームワークを高める

◆ 第2回目の交流授業を終えて

〔一緒に練習・試合をして感じたこと〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・交流ができてよかったが，3年の差は大きい ・違う年代の人とのコミュニケーションの難しさを感じた ・中学生がしっかり考えていたし，上手いと思った ・ゲームがバタバタしているし戦術がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より仲良くなれた ・もっとコミュニケーションがとれるように声を出そう ・中学生に気を遣うと負けるし，バランスが難しい ・もっとパスをつなぐ練習をするとよい
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術が上手い ・レベルが高すぎてついていけない ・考えてプレーをしていた ・高校生はコミュニケーションをとって積極的だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生はレベルが高く積極的である ・空いているスペースを上手く使っている ・ディフェンスが上手くよくカットされた ・広がり，パスをよくつなぐ

〔どんなアドバイスができたか—高校生〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを追うだけではなく、考えて動く ・ゴール下に集まらない ・四角パスについてアドバイスした ・空いているスペースを見つけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールにかたまらない ・空いている人を見付けよう ・積極的にシュートしよう ・しっかりマークをしよう

〔どんなアドバイスをもらったか—中学生〕

中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・どんどんシュートを打っていく ・パスをしたらすぐ動く ・パスやシュートの仕方を教えてもらった ・みんなが広がっていくこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールにかたまらないで広がって ・「そこはドリブル、パス」というようにいろいろな指示をもらった ・パスやシュートについてアドバイスももらった ・声をかけ合うことの大切さを教えてもらった

〔次にしてみたいこと〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・一緒にゲームをしてみたい ・スピーディーなゲームをしたい ・コートを広く使った速攻を一緒にしたい ・ゴール下での三角パス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをやりたい ・四角パスをしたい ・チームで作戦を立てる ・声かけと名前を覚えたい
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・四角パスやシュート練習をしたい ・もっと動いてパスを受ける ・中学生対高校生のゲームをやってみたい ・積極的にシュートを打ってみたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをもっとしたい ・四角パスやシュート練習をしたい ・ボールを上手く運べるようにしたい ・作戦をしっかり立てたい



◆ 第3回目の交流授業を終えて
〔一緒に練習をして感じたこと〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・技術に大きな差があり、一緒にするのが難しい ・中学生の理解が遅い ・コミュニケーションとることで楽しく感じられた ・年下にあわせるのが難しい ・だんだん上手になっていった ・バスケの動きを知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生がしっかり理解しないと教えられない ・四角パスは難しそうだった ・コミュニケーションが少しとれるようになった ・パスをもっと上手くつなげるようにしたい ・もっと声をかけあってチームワークを良くしたい ・中学生はパスが遅く、スピードがない
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生はみんな上手で、プレーが参考になった ・いろいろなところに気を配っていてすごい ・アドバイスもらってやってみたら上手くなった ・シュートチャンスを作ってくれてうれしかった ・交流の意味があった ・教え方がわかりやすかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生はやはり上手い ・優しく丁寧に教えてくれた ・シュートを外したとき「おいしい」といってくれた ・考えてプレーすることが大切だとわかった ・ボールの出るところを予想して素早く動くのですごいと感じた

〔どんなアドバイスができたか—高校生〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・3対2では周りを見てフリーになろう ・ドリブルはあまりしなない方がよい ・レイアップはボードのたてのラインをねらおう ・四角パスのやり方を教えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・四角パスの仕方を教えた ・どこに動けばよいか教えた ・ドリブルの仕方を教えた ・「前の人の動きをまねる」とアドバイスした

〔どんなアドバイスをもらったか—中学生〕

中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・パスを受ける人のことを考えてパスをする ・テキパキと動くことは日常でもとても役に立つ ・周りを見てからパスをする ・シュートの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・四角パス（シュート）の仕方を教えてもらった ・レイアップシュートの仕方 ・シュートの時白い枠の角にあてること ・止まらずに走りながらパスをする

〔3回の交流授業を通しての感想〕

高校男子	高校女子
<ul style="list-style-type: none"> ・普段とは違った環境での授業で、アドバイスなども多くあって良かった ・普段関わることのない世代との交流は良かった ・年の違いでどういう事が起こるのかわかった ・交流授業は楽しく、おもしろくまたやってみたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生は可愛くて元気が良く、交流は楽しかった ・自分の未熟さを実感しもっと全力で取り組みたい ・教えられるようにもっと技能を身に付けたい ・体格や体力の違いが大変だったが仲良くなれたし楽しかった

<ul style="list-style-type: none"> ・教える立場の難しさがわかった ・他学年と試合をして高校生のときとは違うようなプレーができて良かった ・中学生が日々上達していき、自分もがんばらなくてはと思った ・交流授業は良い学習になりました ・体格差を気にせず積極的に動いて中学生はすごいと思った 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか体験ができてよかった ・もっとリードしたかった ・もっと関わり合える工夫があるとよい ・今まで知らなかった人と仲良くなれた ・スムーズにパスができた ・もっと交流がしたい
中学男子	中学女子
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生からアドバイスや練習を教えてもらった ・果敢に取り組むプレーを見てがんばらなくてはと思った ・いろいろな事が学べたし、交流も深まった ・今まで質問できなかったが質問ができてよかった ・沢山の良いプレーを見せてもらったのでよかった ・いろいろな事を教えてくれた高校生に感謝します ・怖そうだったけど質問したことには優しく答えてくれた 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生と交流できて楽しかった ・わからないことを優しく教えてくれた ・年上の人と交流する方法がわかりました ・体格や体力の差がある高校生はやはりすごい ・大分コミュニケーションがとれるようになった ・上手でかっこよい高校生になりたいので練習する ・高校生の良いところを学べた ・まだまだ交流したい ・もっと教えてもらいたかった

4. 成果と課題

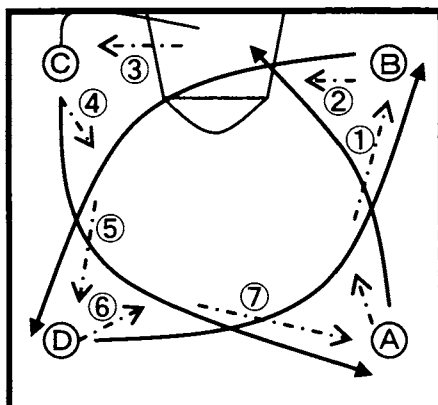
今回の実践を通して高校生側、中学生側それぞれどうしていけばよいのか等の具体的な話をもう少し深めて実践していかなければいけないと感じた。高校生については、各クラスの半分程度は昨年度交流授業を経験しており、進め方等は理解はしているが、具体的に自分が教える立場に立った場合の準備がうまくできておらず、リーダーシップを発揮して中学生に教えたり、積極的に関わっていこうという姿があまり見られなかった。中学生については事前に教えてほしいことなどを積極的に聞こうと促したが、なかなか先輩に聞く勇気がなく、言われたら答えるという生徒が多かった。技術面に関しては、ボールをしっかり取る、動くという部分については事前にある程度の練習をして交流に臨んだ方がよかった。

事後のアンケートを見ると、新しい練習方法を知ったり、高校生の動きの速さや正確さなど刺激を受けている部分が見られ、直接会話をしなくても通じ合うものがあり、教師側が考える、交流で得られるものがあった。

また、教師側の働きかけの部分で、高校生についても中学生についても関わりのための場を意図的に作っていく必要があると感じた。たとえば、グループ練習、試合中や試合後の振り返りである。この部分は少しは行っていたが、強制的にやらせないで行うことはできない。高校生にとっては交流の意味など正しく理解しておらず、思ったことができないという意見を持った生徒も見られ、高校生側の意識も少し変えていかないと交流がうまく機能していかないような気がする。中学生側（教師も含めて）も、どこまで求めるのかしっかり考えて交流に臨む必要がある。

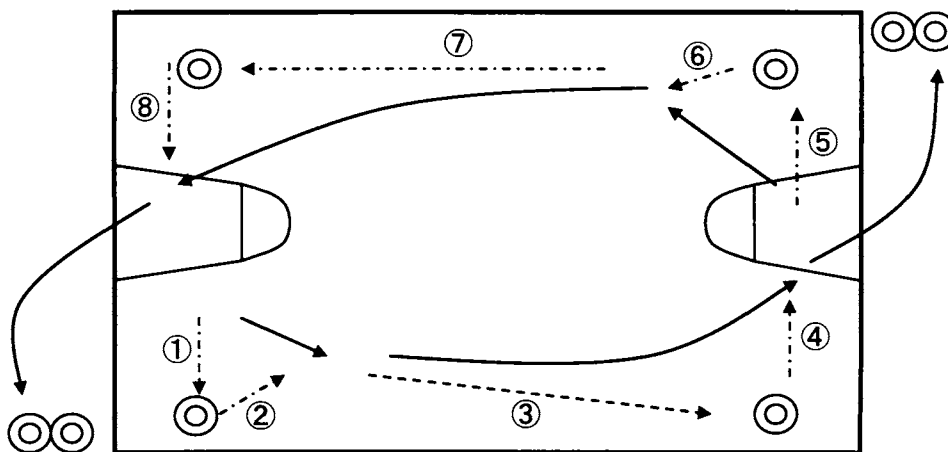
3回の交流ではあったが、可能性を秘めた実践なので、お互いがしっかり整理して取り組んでいくことで得られるものが多く出てくるような気がしている。

四角パス&シュート



一定時間後にA列とB列，C列とD列が場所交替する。

オールコートパス&ランシュート



アウトレットパスを受けた◎はコーナーの◎の位置に移動。
シュートパスをした◎はリバウンドをとってアウトレットパスからパス&ラン。

通信・記録 ☺ ☹ ☹

高校生との交流でバスケットボールをしました。高校生を見ていて、中学生とは身長の違いもあるけれど、技術行自りにすこたである。相手をかわして、リア、アシュートはおもむいふかしてしまいました。僕もあんな風に上手になれるかな。

p.m.1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

生活時間 学校 下校 夕食 自習 勉強

通信・記録 ☺ ☹ ☹

今日は体育の授業で高校生のお姉さんとの交流授業をした。名前も覚えることが出来たし、組との対決でも勝たん高校生とのストーリーなプレイも見れたし、おもしろい楽しかったよ。

p.m.1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

生活時間

通信・記録 ☺ ☹ ☹

今日も体育で高校生と交流授業をした。今回は中高と混同で練習と試合をした。さすがは高校生だなと思った。アドバイスなどももらえて良かった。

p.m.1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

生活時間 学校 開演 観劇 睡眠

通信・記録 ☺ ☹ ☹

今日のバスケットで附属高校のアリーナで高校生と交流授業をしました。高校生は中学生より一段とレベルが高く、なかなか追いつけそうにありませんが、できるだけ近づきたいと思います。

p.m.1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

生活時間

通信・記録 ☺ ☹ ☹

2回目のバスケの交流。初めて高校生と中学生の交じたチームで試合をした。高校生はドリブルとパスの使い方が上手だった。やはり強い。少しえんりよかすなところもあるけど...。判方にあこがれる。

p.m.1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

生活時間

通信・記録 ☺ ☹ ☹

今日の1・2限目にバスケットボールをしました。交流授業で高校生のプレイはとてもストーリーです。負けてしまったけど、ダメだったところをなおして勝ちにつなげたんです。

p.m.1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

生活時間